

1年次通信

第6号 H28/8/26

”進路推薦の基準”

君たちも2年後には否応なく、今の3年生の立場になります。

本校はいくつかの系列に分かれているため、一つの進路先に誰を当てはめるかを定める、3年次の進学や就職時の推薦順位を決める基準があります。

A 学業成績（最高100点）3カ年の評定

B 出席（最高50点）年間の欠席数により（3年間を合計する）

1・2年 皆勤20点、3日以内15点、5日以内10点、10日以内5点
15日以内3点、20日以内1点

3年 皆勤10点、3日以内5点、5日以内2点、5日を越える0点

C 資格（最高15点を上限とする）

D 部活動・生徒会活動（最高25点）

E その他（最高10点）規律検査・小テスト等、年次が掲げる重点項目

以上、A～Eの5項目を合計し、200点を最高として、この基準により決定することになります。君たちも、今から覚悟が必要です。本校で取り組む全ての活動が、君たちの将来を決定することになります。その中には、プラスの内容もありますが、マイナスの内容もあります。今後は、この基準を忘れずに、高校生らしい行動をお願いします。

とにかく、皆さんのゴールは、『自己の進路、将来の社会貢献のみならず、どうやったら社会をよりよくできるか、人々が生きがいを持って幸せに暮らせるか』といったことを考えることで、『将来つく職業をめざし、いかに社会に貢献できるか』ということが進路選択の観点となり、その第一歩となるのが、系列選択になりますので、今後このことに集中して取り組んで下さい。

”時間管理のマトリックス”

それぞれの日々の活動を緊急度と重要度で4つの領域に分け、

第一領域：緊急かつ重要な領域

第二領域：緊急ではないが重要な領域

第三領域：緊急だが重要でない領域

第四領域：緊急でも重要でもない領域

第三・四領域を意識し 自分の第三・四領域は？

この行動は不必要だと思い直し、第二領域に使える時間を探す。普段やっている行動を意識できたことで一歩前進できる。

第二領域を広げる努力をする！ 第三・四領域を意識したことで、不必要な時間を過ごさなくなる。その捻出した時間を第二領域に回す。”夢を正しく設定し、その過程の必要なことが第二領域であること”を忘れないようにしましょう！

”「大切」な4つのこと”

1つ目は、「挨拶は大切」です。

挨拶は当たり前だから、挨拶をしないデメリットが、大きくなる。

2つ目は、「反省をすること」です。

もし失敗したら、どこが悪いかを考えて、今後に活かさなければならない。

3つ目は、「謙虚であること」です。

謙虚さを失うと、自分を客観的に見れなくて、失敗を重ねてしまう。

4つ目は、「嫌なことはすぐにやること」です。

嫌なことを後回しにすると、あとで、もっと大変になる。

以上、集会での年次主任の話の内容を要約して掲載します。

”4組と7組の教室に扇風機がつけました”

これまで、4組と7組は廊下に窓がなかったり、あっても窓が開けられなかったりで、大変暑くてつらい思いをさせて居ました。

休業中に、教室の前後に2つの扇風機がつけました。これで暑いのも解消できることでしょう。

